



目次

◆事務局からのお知らせなど	1
■ワークショップ「世界最大の市民科学プロジェクト eBird のデータ解析と、保全・科学研究への活用」のお知らせ	1

■「バードウォッチングウィーク！ 毎日 eBird に投稿しよう」キャンペーン	2
■会員数	2

◆事務局からのお知らせなど

■自然保護室より

■ワークショップ「世界最大の市民科学プロジェクト eBird のデータ解析と、保全・科学研究への活用」のお知らせ

eBird の利用者数も 10,000 人を超え、投稿データも蓄積されつつあります。そこで今回は、eBird に蓄積されたデータの解析方法を紹介するワークショップを実施します。推定個体数マップ等を公開している「ステータス&トレンド」を例に、eBird のデータをどのように科学研究や保全に活用できるかを紹介します。

また、希望者向けに、ワークショップ終了後の 1 時間程度、統計分析ソフト「R」を使った解析方法を紹介する講習会を実施します。

- ・日時：11 月 8 日（土）13:30～16:40 13:00 受付開始（特別講習「R による eBird のデータ解析」参加者は 18:00 終了予定）

- ・講師：トム・アウアー氏、マット・ストリマス＝マッキー氏（コーネル大学鳥類学研究室 eBird サイエンスチーム）

※日本語への逐次通訳あり

※特別講習「R による eBird のデータ解析」は、R を使ったことがある方が対象になります。

- ・会場：立教大学 池袋キャンパス 14 号館 DB01
アクセス <https://www.rikkyo.ac.jp/access/ikebukuro/>
- ・参加費：無料
- ・定員：200 名、先着順
- ・お申し込み：以下のフォームから事前申し込みをお願いします↓

<https://form2.wbsj.org/workshop-ebird-20251118>

- ・主催：（公財）日本野鳥の会

- ・プログラム（予定）

- ①ワークショップ「世界最大の市民科学プロジェクト eBird のデータ解析と保全・科学研究への活用」

13:30—	あいさつ、はじめに
13:35–14:20	eBird ステータス&トレンドについて
14:20–14:50	データ解析方法のデモンストレーション
14:50–15:00	休憩
15:00–15:40	eBird のデータの保全・科学研究への応用
15:40–16:00	データへのアクセス・利用方法のデモンストレーション
16:00–16:15	eBird ベストプラクティス
16:15–16:30	質疑
16:40	ワークショップ終了

② 特別講習「R による eBird のデータ解析」

時間：16:50–18:00（ワークショップ終了後、1 時間程度）

対象：eBird のデータ解析に関心があり、R を使ったことがある方

内容：R を使った解析方法の紹介

持ち物：ノートパソコン

<講師プロフィール>

[トム・アウアー氏]

データサイエンティストとエンジニアからなるチームの共同リーダーを務め、eBird からダウンロードした生の参加型科学データを鳥類の生物多様性に関する実用的なデータ製品（eBird ステータス&トレンド）へと変換する業務を担っている。鳥類学と地理情報科学のバックグラウンドをもち、最近では機械学習の経験も積む。鳥類生態学とデータサイエンスの交差点に身を置き、機械学習の設計、拡張、導入に共同で取り組み、鳥類個体群の管理と保全に活用可能なデータ製品を生み出すこと、活動を理解してもらうためのプレゼンテーションを行うことによるこびを感じている。

[マット・ストリマス＝マッキー氏]

eBird ステータス&トレンドチームのデータサイエンティストとして、研究と製品生産の接点で活動する。チーム内の研究者と協力し、鳥類の分布、個体数、世界的な傾向を推定するための新たな手法の検証、拡張、導入に取り組む。職務の中で特に気に入っている点は、

研究者や保全実務者が鳥類保全の応用において eBird ステータス&トレンドデータ製品を効果的に活用できるよう、ツールや研修教材を開発し、ワークショップを指導すること。

・お問い合わせ
(公財)日本野鳥の会 自然保護室
電話：03-5436-2633
E-mail: ebirdjapan@wbsj.org

(自然保護室／岡本裕子)

■「バードウォッチングウィーク！ 毎日 eBird に投稿しよう」キャンペーン

今年も、11月1～7日のバードウォッチングウィークにあわせて、バードウォッチングの記録を eBird に投稿していただくキャンペーンを実施します。eBird のユーザー数・投稿数は全世界で増加しており、2025 年 9 月現在で 110 万人、チェックリストと呼ばれる観察リストの数は 1 億件を超えています。今回は、このチェックリストの数を増やし、より充実したデータベースにできるよう、毎日継続して eBird に投稿することと呼びかけるキャンペーンを実施します。

【「バードウォッチングウィーク！ 毎日 eBird に投稿しよう」キャンペーンの概要】

- ・期間：2025 年 11 月 1 日（土）～7 日（金）（バードウォッチングウィーク）
- ・参加方法：期間中、いつでも好きな時間にバードウォッチングをして、見た鳥をアプリ「eBird モバイル」または eBird のウェブサイト（<https://ebird.org/home>）から投稿してください。

※初めて使う方は「これを読めばわかる！ eBird & Merlin の使い方」をご覧ください。

「これを読めばわかる！ eBird & Merlin の使い方」：
https://www.wbsj.org/nature/ebird/eBird_setting_guide.pdf

- ・参加賞：期間中にチェックリストを投稿された方のうち、

① サントリー特別賞：

チェックリストを 15 件以上投稿された方 10 名さま（該当者多数の場合は抽選）に、サントリーホールディングス株式会社提供の「ステンレス製真空タンブラー『クマタカ』（数内正幸イラスト）」をさしあげます。



協力：数内正幸美術館

② 日本野鳥の会賞：

11 月 1 日～7 日の 7 日間毎日チェックリストを投稿した方 10 名さま（該当者多数の場合は抽選）に、日本野鳥の会オリジナルグッズ「卓上カレンダー 2026」と「今治タオルハンカチ・よるの野鳥」のセットをさしあげます。



- ・キャンペーンの詳細は、ホームページをご覧ください。

<https://www.wbsj.org/activity/event/campaign-ebird-20251101/>

(自然保護室／岡本裕子)

■総務室より

■会員数

10 月 1 日時点の会員数は 33,072 人で、先月と比べ 21 人減少しました。

9 月の入会・退会者数（表 1）をみると、入会者数は退会者数より 4 人多くなっています。

9 月 1 日付の入会者数は 144 人で、前年同月の入会者数 131 人と比べ 13 人増加しました。

また、9 月末日付の退会者数は 140 人で、前年同月の退会者数 132 人と比べ 8 人増加しました。

なお、会員の増減は入会者数と退会者数のほかに、会費切れ退会となった後に会費が支払われ会員として復活した人数によって決まります。

表 1. 9 月の入会・退会者数

	入会者数	退会者数
個人特別会員	4 人	4 人
総合会員（おおぞら会員）	26 人	35 人
本部型会員（青い鳥会員）	22 人	19 人
支部型会員（赤い鳥会員）	75 人	55 人
家族会員	17 人	27 人
合計	144 人	140 人
年度累計	1,079 人	※

※会費切れ退会となった後に会費が支払われ会員として復活する方がいらっしゃるため、退会者数の年度累計は、実際の退会者数とずれた数字となります。

※上記集計は速報値になります。

●都道府県および支部別会員数

野鳥誌贈呈者数を除いた数を掲載します。

表2. 都道府県別の会員数（10月1日時点）

都道府県	会員数	対前月差
北海道	1,595 人	-5 人
青森県	207 人	-1 人
岩手県	325 人	-1 人
宮城県	541 人	9 人
秋田県	227 人	0 人
山形県	213 人	1 人
福島県	500 人	1 人
茨城県	832 人	1 人
栃木県	816 人	-8 人
群馬県	599 人	-4 人
埼玉県	1,909 人	-10 人
千葉県	1,442 人	3 人
東京都	4,720 人	11 人
神奈川県	3,032 人	-7 人
新潟県	329 人	-1 人
富山県	185 人	-2 人
石川県	269 人	4 人
福井県	225 人	-3 人
山梨県	239 人	1 人
長野県	821 人	4 人
岐阜県	460 人	0 人
静岡県	1,179 人	4 人
愛知県	1,589 人	-6 人
三重県	458 人	-2 人
滋賀県	325 人	-1 人
京都府	813 人	-9 人
大阪府	1,862 人	0 人
兵庫県	1,200 人	3 人
奈良県	471 人	0 人
和歌山県	192 人	-1 人
鳥取県	220 人	0 人
島根県	188 人	-3 人
岡山県	524 人	4 人
広島県	548 人	3 人
山口県	284 人	-1 人
徳島県	325 人	-2 人
香川県	209 人	0 人
愛媛県	328 人	-5 人
高知県	101 人	2 人
福岡県	1,108 人	-4 人
佐賀県	222 人	1 人
長崎県	205 人	3 人
熊本県	351 人	0 人
大分県	221 人	3 人
宮崎県	239 人	0 人
鹿児島県	299 人	-3 人
沖縄県	69 人	0 人
海外	16 人	0 人

不明	40 人	0 人
全国	33,072 人	-21 人

備考：不明は転居先が不明の会員を示します。

表3. 支部別の会員数（10月1日時点）

支部	会員数	対前月差
オホーツク支部	241 人	-1 人
根室支部	71 人	0 人
釧路支部	132 人	-1 人
十勝支部	197 人	-1 人
旭川支部	104 人	0 人
滝川支部	35 人	0 人
道北支部	55 人	1 人
札幌支部	300 人	-1 人
小樽支部	47 人	0 人
苫小牧支部	170 人	2 人
室蘭支部	115 人	0 人
道南樺山	71 人	0 人
青森県支部	109 人	0 人
弘前支部	113 人	-2 人
秋田県支部	215 人	0 人
山形県支部	199 人	-1 人
宮古支部	72 人	0 人
もりおか	143 人	-1 人
北上支部	85 人	0 人
宮城県支部	504 人	8 人
ふくしま	127 人	0 人
郡山支部	143 人	-1 人
白河支部	17 人	0 人
会津支部	53 人	2 人
奥会津連合	7 人	0 人
いわき支部	89 人	4 人
福島県相双支部	16 人	0 人
南相馬	18 人	0 人
茨城県	743 人	-6 人
栃木県支部	825 人	-6 人
群馬	536 人	-3 人
吾妻	46 人	0 人
埼玉	1,430 人	-10 人
千葉県	869 人	5 人
東京	2,681 人	8 人
奥多摩支部	750 人	1 人
神奈川支部	1,905 人	-5 人
新潟県	255 人	0 人
佐渡支部	40 人	0 人
富山	167 人	-1 人
石川	249 人	5 人
福井県	214 人	-5 人
長野支部	377 人	3 人
軽井沢支部	163 人	0 人
諏訪支部	236 人	0 人
木曽支部	18 人	-1 人
伊那谷支部	72 人	0 人
甲府支部	175 人	1 人

富士山麓支部	43 人	-2 人
東富士	55 人	1 人
沼津支部	129 人	0 人
南富士支部	220 人	1 人
南伊豆	34 人	0 人
静岡支部	297 人	0 人
遠江	339 人	2 人
愛知県支部	1,247 人	-5 人
岐阜	427 人	-2 人
三重	405 人	-2 人
奈良支部	401 人	0 人
和歌山県支部	196 人	-1 人
滋賀	334 人	0 人
京都支部	782 人	-1 人
大阪支部	1,714 人	-2 人
ひょうご	914 人	2 人
鳥取県支部	238 人	-2 人
島根県支部	188 人	-1 人
岡山県支部	505 人	3 人
広島県支部	476 人	4 人
山口県支部	258 人	-1 人
香川県支部	173 人	2 人
徳島県支部	343 人	-2 人
高知支部	91 人	1 人
愛媛	311 人	-4 人
北九州支部	227 人	0 人
福岡支部	509 人	-1 人
筑豊支部	202 人	-1 人
筑後支部	130 人	1 人
佐賀県支部	292 人	1 人
長崎県支部	181 人	2 人
熊本県支部	345 人	-1 人
大分県支部	209 人	3 人
宮崎県支部	236 人	0 人
かごしま県支部	279 人	-3 人
やんばる支部	37 人	0 人
西表支部	55 人	0 人
	28,021 人	-14 人

備考：支部別の会員数の合計は、都道府県別の会員数の合計と異なります。

これは、本部型（青い鳥）会員や支部に所属されていない個人特別会員が支部別の会員数に含まれないためです。

（総務室／鈴木風香）

◆支部ネット担当より

いつも支部ネット通信をご愛読いただきありがとうございます。

10 月に入り、漸く酷暑も落ち着いた東京地方、朝晩は随分と過ごしやすくなりました。

先日、事務所近くの緑地を歩いているとキンモクセイの香りが漂ってきました。そんな中、まだツクツクボウシは元気に鳴いており、アブラゼミもギリギリ 1 個体、声が聞こえて来ました。またヒヨドリも日に日に数が増え賑やかです。日々、夏から秋への移ろいを楽しみたいと思います。

支部ネット通信では、連携団体やブロックから全国の連 携団体へ発信したい情報をご投稿いただき掲載することが可能です。投稿にあたって特に字数の制限などは設けて いません。原稿は毎月 5 日頃が締め切り、25 日頃発行と なります。ご投稿は下記アドレスまでお送りください。

次号もどうぞよろしくお願いいたします。

日本野鳥の会

支部ネット通信

2025 年 10 月号・通巻 285 号

◆発行

公益財団法人日本野鳥の会 2025 年 10 月 27 日

◆担当

総務室 総務管理グループ

五十嵐真/松井華奈/深谷静流/原元奈津子/萩原洋平
〒141-0031

東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル

TEL : 03-5436-2620

FAX : 03-5436-2635

E-mail : sibu-net@wbsj.org